

連携だより

令和4年

3月号

令和4年3月1日発行

独立行政法人 国立病院機構 
呉医療センター・中国がんセンター
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
TEL 0823-22-3816
FAX 0823-32-3070

URL <https://kure.hosp.go.jp>
E-mail 506-kure-renkei@mail.hosp.go.jp

3月の花 サクラ

理念

思いやりのあるやさしい誠実な医療を提供します



今月号のトピックス

- 歯科・口腔外科 診療体制のお知らせ
歯科・口腔外科科長 武知 正晃…………… 1
- 令和4年度 医療安全講習会 報告
「医療メディエーション」は医療と患者の橋渡しを実現する
副院長・医療安全部長 山下 芳典…………… 3

歯科・口腔外科 診療体制のお知らせ



歯科・口腔外科
科長
武知 正晃

拝啓

時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

地域の先生方におかれましては、日頃より地域医療連携に際しご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、令和4年1月1日より、歯科診療医増員につき、下記の治療が可能となりましたのでご報告させていただきます。

治療適応の患者様がおられましたら、是非、ご紹介いただきますようお願いいたします。

口腔インプラント治療
骨造成治療（GBR、サイナスリフトなど）
顎骨再建治療

敬具



歯科・口腔外科 スタッフ一同

※撮影のためマスクをはずしております

「医療メディエーション」は医療と患者の橋渡しを実現する



副院長
医療安全部長
山下 芳典

医療安全に関わる研修会を年に2回義務付けられています。令和4年2月9日に当院の医療安全体制を維持・向上するために職員に対して医療安全講習会が開催されました。少々難しいかもしれませんが、取り上げられたテーマは、医療メディエーションでした。メディエーションとは、病院だけでなくあらゆる紛争や葛藤（コンフリクト）の争いの場で対話によって解決の糸口を見出すことです。もっと簡単に言えば、医療現場で起こりうる争いを当事者との対話を通して収めるための研修会でした。

1. 医療メディエーションとは

医療メディエーションを会得した専門の対話者をメディエーターと呼びます。メディエーターは病院職員でありながら、決して病院の立場に立たず中立であることが院内で許されています。メディエーターは医療



医療安全講習会「医療メディエーション」
オンライン講演会 場面

者と患者側で争っているそれぞれの当事者に敬意を払い寄り添いしっかりお話を伺う（傾聴）のが基本となります。当事者の方々は当然医学に関しては専門と一般の方なので知識の量が違います。さらに、年齢、文化、育ってきた環境や背景によって、同じものを見てもとらえ方が異なります。お互いが正しいとすることが一致しないのは当たり前の結果なのです。対話の中で傾聴を通してそれぞれの当事者の言葉や態度の奥にある潜在的な欲求を理解することがメディエーターの重要な役割です。すなわち、紛争の当事者間の理解を深め、人間関係を調整し橋渡しをすることです。

2. オレンジの取り合いで姉妹げんかが・・・

わかりやすい例を示します。一つしかないオレンジを小学生の姉妹二人で取り合うお話です。仕事で忙しいお母さんのことが大好きな二人ですが、姉妹げんかが勃発しようとしています。「なーんだ、簡単、半分ずつにすれば解決！」と思われるかもしれませんが、表面的にはオレンジを独り占めしたいという欲求が対立しているわけですが、姉妹それぞれからよくよく言い分を聞き出すと、姉は「お母さんのために皮を使ってママレードを作ってあげたい」、妹は「お母さんのために中の実だけを使ってオレンジジュースを作ってあげたい」ということだったのです。



お母さんを喜ばせたいという目的は一致し、皮と実に分ければめでたく解決です。その後2人は力を合わせてママレードとジュースを作り、お母さんを喜ばすことができたそうです。争っている双方が目で見ているものは同じでも頭の中で見えているものは違います。まさに、当事者の言葉や態度の奥に隠れた欲求がお互いに理解されたわけです。アメリカのハーバード交渉術という書物の中の一例でした。視点を変えれば、日常生活のあらゆるコンフリクトの場面においても、メディエーションによりアプローチすることが可能となります。

3. 医療メディエーションは病院や患者に何をもたらすか

われわれの病院では毎日のように医療安全部にコンフリクトが報告されますが、オレンジの取り合い事例のように必ずしもうまく解決できません。その中では医療事故に発展するものもあります。アメリカでは交通事故の死亡数より医療事故による犠牲者が多いことが報道され、1999年に“To Error is human”（人はミスをするもの）が発表されました。その頃、日本でもいくつかの大変不幸な医療事故が発生しました。それ以来、日本の医療においても官民一丸となり医療事故防止対策が施され医療の中に医療安全の文化が浸透していきました。医療事故はあってはならないものですが、いまだ世界のあらゆる病院で発生しているのが現実です。医療メディエーションの大切な位置づけとして、医療事故が発生した際にはメディエーターが早期に介入し対応することです。できるだけ早く双方の当事者から傾聴によりしっかりお話を伺い、診療に起因した事故の被害者や家族の方々の心に寄り添い、そのご不幸に対し医療側は共鳴し心より謝罪を伝えることが大切です。

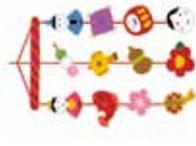
本院のさまざまな医療現場では、チーム医療の下であらゆる職種は医療事故を起こさないように懸命に努力しています。もちろん医療事故が起きないように病院のシステムの中で対策を講じて予防していくことが極めて重要です。一方で、本院にとって今回の医療メディエーション研修を契機に学習を重ねることが大切です。万が一当院の医療に起因して不幸な事故が発生してしまった場合、本院が心ある誠実な対応をとれるよう切に期待しています。

救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで電話でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

平日 昼間	8:30~17:15	0823-22-3111
土・日および夜間	17:15~8:30	0823-23-1020

3月の時間外 研修会／勉強会



[連絡先]

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 庶務係（教育企画部）
広島県呉市青山町3番1号/TEL:0823-22-3111/ホ-ル：https://kure.hosp.go.jp/



研修会名	日時	場所	講師 ※敬称略	担当部署	院外参加	対象職種
院内BLSコース	3月4日 (金) 17:30～	11F大会議室	院内BLSチーム	院内BLSチーム	院内向け	医師・看護師
第5回 TCSA 勉強会	3月14日 (月) 18:00～	地域医療研修センター1.2	呉医療センター・中国がんセンター	栄養管理室	院内向け	全職種

自己研鑽で専門性を高めましょう！



〒737-0023 広島県呉市青山町3-1

地域医療連携室

高野 弘嗣 清水 洋祐
森下 早苗 折本 陽一
片山 千雪

TEL: (0823) 22-3816

独立行政法人 国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター